

Quality is more than a word

ESPEC

民間航空機装備品試験規格

RTCA/DO-160G

section 11

Fluids (Category F) Susceptibility

—— 流体感受性試験 ——

民間航空機装備品評価のお困りごとは
エスペックにお任せください

RTCA/DO-160規格に
合致した試験をトータルサポート



Webサイトはこちら▶

11.4.1 Spray Test スプレーテスト

汚染流体に噴霧された 装備品に対する耐久性を評価。

各種汚染流体(薬液)の噴霧・乾燥を繰り返し、
最後の噴霧時に装備品を作動させ影響を判断します。

- ・露出する可能性が高い表面全体に、指定された液体をスプレーする。
 - ・スプレーは、テスト流体を規定された温度に維持した微細な霧状態。・表面を湿った状態で8時間維持した後、65°Cで16時間乾燥させる。
 - ・スプレー間隔は、最大4時間、スプレー環境は、標準の周囲温度で実施する。
 - ・試験中は、供試品の材料、保護仕上げ、物理的変化の劣化を目標で確認する。・24時間サイクルが3回完了するまで繰り返す。
 - ・3回目の噴霧期間の終了時に、まだ濡れている状態で、供試品を最低10分間作動させる。
 - ・最後のサイクルの後、チャンバーを標準的な周囲温度まで戻す(温度ショックを避ける)。
- 供試品が安定するまで、または最低30分間装置を供試品を作動させ、適用される供試品性能基準への準拠を判断すること。



【使用機器】

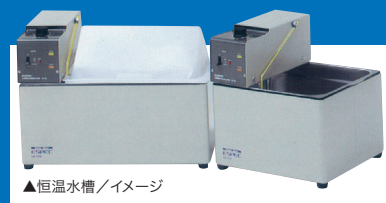
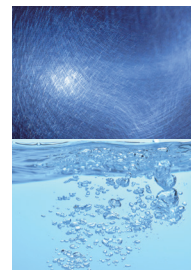
- ・湯せん設備
- ・乾燥炉
- ・温度記録計
- ・噴霧器

※汚染流体と噴霧温度
により、噴霧器を
使い分けます。



汚染流体のクラス

- ・燃料 ・油圧作動油
- ・潤滑油
- ・溶剤と洗浄液
- ・除氷液 ・殺虫剤
- ・スラッジ ・消毒剤
- ・クーラント誘電性流体
- ・消火液



▲恒温水槽/イメージ

11.4.2 Immersion Test 浸漬試験

汚染流体に対する装備品の耐久性を評価。

汚染流体(薬液)に浸漬される装備品の影響を確認します。
浸漬状態で装備品の作動確認します。その後、既定の条件で乾燥します。

- MSDSが
必要になります。
- 試薬調達、取り扱いも
ご相談ください。

※画像はすべてイメージです

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

エスペック 受託拠点 検索

●受託試験に関するお問い合わせは

【バッテリー安全認証センター／宇都宮試験所】Tel:028-667-8735 【神奈川オフィス】Tel:044-740-8456

【豊田試験所】Tel:0565-25-3364 【刈谷試験所】Tel:0566-62-8380 【神戸試験所】Tel:078-951-0961

